

# 地方創生の実現に向けた主な取り組み

参考資料1

	ひとを育む	しごとをつくる	岐阜に呼び込む	安心をつくる	まちをつなぐ																																																
これまでの実績・主なKPI	<p>○子育て世帯への支援、女性の活躍推進などの取り組みにより、出生率は一定の改善をみたが、目標達成には更なる取り組みが必要。</p> <p>○あらゆる分野で、担い手確保・育成の支援体制を構築したが、有効求人倍率は高止りし、人手不足解消は喫緊の課題。</p> <p>◆性差や障がいの有無、国籍、年齢に関わらず、誰もが活躍できる社会の実現に向けた取り組みが求められる。</p> <table border="1"> <tr> <td>合計特殊出生率 (2030 : 1.8)</td> <td>1.42 (2014)</td> <td>→</td> <td>1.52 (2018)</td> </tr> <tr> <td>WLB推進企業 (累計3,300企業)</td> <td>1,477 (2014)</td> <td>→</td> <td>3,233 (2018)</td> </tr> <tr> <td>新規就農者数 (400人)</td> <td>328 (2014)</td> <td>→</td> <td>546 (2018)</td> </tr> </table>	合計特殊出生率 (2030 : 1.8)	1.42 (2014)	→	1.52 (2018)	WLB推進企業 (累計3,300企業)	1,477 (2014)	→	3,233 (2018)	新規就農者数 (400人)	328 (2014)	→	546 (2018)	<p>○「成長産業人材育成センター」の整備や、試験研究機関の機能強化等を推進し、航空宇宙など成長分野における企業支援を強化。</p> <p>○主要観光地の磨き上げや地域資源の発掘、岐阜ブランドの発信などにより、外国人宿泊者数は100万人規模に拡大、飛騨牛の輸出量は3倍以上増加。</p> <p>◆人口減少が進行する中、IoTやAI等の先端技術の導入・活用も見据えた産業の振興が求められる。</p> <table border="1"> <tr> <td>航空宇宙産業の製造品出荷額 (2022 : 4,000億円)</td> <td>2,162 (2012)</td> <td>→</td> <td>2,678 (2017)</td> </tr> <tr> <td>観光消費額 (3,200億円)</td> <td>2,659 (2013)</td> <td>→</td> <td>2,819 (2017)</td> </tr> <tr> <td>飛騨牛の輸出量 (24t)</td> <td>16 (2014)</td> <td>→</td> <td>59 (2018)</td> </tr> </table>	航空宇宙産業の製造品出荷額 (2022 : 4,000億円)	2,162 (2012)	→	2,678 (2017)	観光消費額 (3,200億円)	2,659 (2013)	→	2,819 (2017)	飛騨牛の輸出量 (24t)	16 (2014)	→	59 (2018)	<p>○県内への移住者数は、三大都市圏での情報発信・相談機能の強化や地域ぐるみでの定着促進により、8年連続で増加。</p> <p>○成長産業分野や景気の影響を受けにくい分野に特化した企業誘致を推進し、県内への工場立地は好調を維持。</p> <p>◆一方、県外への転出超過が拡大し、中でも若者の県外流出が際立っている。ふるさと教育の充実や若い世代が活躍したいと思える魅力と活力づくりが求められる。</p> <table border="1"> <tr> <td>移住者数 (累計6,000人)</td> <td>2,274 (2010~14)</td> <td>→</td> <td>5,271 (2015~18)</td> </tr> <tr> <td>県外転出超過数 (1,900人)</td> <td>4,014 (2014)</td> <td>→</td> <td>5,792 (2018)</td> </tr> <tr> <td>新規企業立地件数 (累計180件)</td> <td>154 (2010~14)</td> <td>→</td> <td>155 (2015~18)</td> </tr> </table>	移住者数 (累計6,000人)	2,274 (2010~14)	→	5,271 (2015~18)	県外転出超過数 (1,900人)	4,014 (2014)	→	5,792 (2018)	新規企業立地件数 (累計180件)	154 (2010~14)	→	155 (2015~18)	<p>○消防団員確保に向けた交付金・減税制度等により、充足率は一定の改善をみたが、目標達成には更なる取り組みが必要。</p> <p>○岐大医学部の地域卒などの取り組みにより、医師の総数確保を図るも、地域偏在、診療科偏在の是正が課題。また、介護職員数は増加傾向にあるが、職員不足解消に向けて、更なる取り組みが必要。</p> <p>◆常態化する想定外の災害への備えや、「豚コレラ」対応など、防災・危機管理体制の強化が求められる。</p> <table border="1"> <tr> <td>消防団員の充足率 (98.0%)</td> <td>92.6 (2014)</td> <td>→</td> <td>93.8 (2018)</td> </tr> <tr> <td>10万人当たり医師数 (2023 : 235.9人)</td> <td>195 (2012)</td> <td>→</td> <td>208.9 (2016)</td> </tr> <tr> <td>介護職員数 (2025 : 39,696人)</td> <td>27,140 (2013)</td> <td>→</td> <td>31,413 (2017)</td> </tr> </table>	消防団員の充足率 (98.0%)	92.6 (2014)	→	93.8 (2018)	10万人当たり医師数 (2023 : 235.9人)	195 (2012)	→	208.9 (2016)	介護職員数 (2025 : 39,696人)	27,140 (2013)	→	31,413 (2017)	<p>○関ヶ原古戦場を核とした広域観光、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（空宙博）」のリニューアル、「東美濃歴史街道」における周遊滞在型観光地づくりなど、市町村等との連携による地域の活性化を推進。</p> <p>○連続テレビ小説「半分、青い。」、大河ドラマ「麒麟がくる」を活用したドラマツーリズムや、中部山岳国立公園及びその周辺地域の魅力向上への取り組みに着手するなど、地域資源の更なる活用を図った。</p> <p>◆人口減少が進行し、社会や経済が縮小する中、引き続き、市町村や近隣県との広域連携による地域活性化への取り組みが求められる。</p>
合計特殊出生率 (2030 : 1.8)	1.42 (2014)	→	1.52 (2018)																																																		
WLB推進企業 (累計3,300企業)	1,477 (2014)	→	3,233 (2018)																																																		
新規就農者数 (400人)	328 (2014)	→	546 (2018)																																																		
航空宇宙産業の製造品出荷額 (2022 : 4,000億円)	2,162 (2012)	→	2,678 (2017)																																																		
観光消費額 (3,200億円)	2,659 (2013)	→	2,819 (2017)																																																		
飛騨牛の輸出量 (24t)	16 (2014)	→	59 (2018)																																																		
移住者数 (累計6,000人)	2,274 (2010~14)	→	5,271 (2015~18)																																																		
県外転出超過数 (1,900人)	4,014 (2014)	→	5,792 (2018)																																																		
新規企業立地件数 (累計180件)	154 (2010~14)	→	155 (2015~18)																																																		
消防団員の充足率 (98.0%)	92.6 (2014)	→	93.8 (2018)																																																		
10万人当たり医師数 (2023 : 235.9人)	195 (2012)	→	208.9 (2016)																																																		
介護職員数 (2025 : 39,696人)	27,140 (2013)	→	31,413 (2017)																																																		
平成30年度実施状況	<p>○非婚化・晩婚化対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域でのお見合いコーディネートや従業員への結婚支援に取り組む企業を支援</li> </ul> <p>○男女が共に活躍できる社会の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が企画・開発に貢献した商品認定する「ぎふ女のすぐれもの」制度を創設</li> </ul> <p>○地域経済を支える人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空宇宙産業の教育の拠点として「モノづくり教育プラザ（2期）」を整備（2019.4月オープン）</li> <li>・「建設ICT人材育成センター」、「ぎふ建築担い手育成支援センター」を開設し、人材の育成、業界の魅力を発信</li> </ul> <p>○農畜水産業の未来につながる取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する学習体験、情報発信機能を備えた「清流長良川あゆパーク」をオープン</li> </ul> <p>○地域の医療と福祉を支える人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉人材総合支援センター」を開設し、スキルアップや定着支援、福祉業界のイメージアップにつながる啓発や情報提供を実施</li> </ul>	<p>○企業支援機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官から成る「岐阜県IoTコンソーシアム」を設立</li> <li>・岐大構内に「食品科学研究所」を整備（2019.4月オープン）</li> </ul> <p>○航空宇宙産業の製造品出荷額倍増</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐大と連携し「日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す生産技術の人材育成・研究開発」計画を推進</li> </ul> <p>○観光産業の基幹産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜の宝もの」のブランド力を高める体験プログラム、三大都市圏発着の地歌舞伎鑑賞ツアーを実施</li> </ul> <p>○県産品の販路拡大・海外展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに香港、アメリカでグローバルアンテナショップを構築</li> <li>・パリの有名レストラン「ダローザ」と連携し、開発した商品を都内でPR</li> </ul> <p>○生きた森林づくり(林業の成長産業化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国最大の住宅資材展示会に出展したほか、台湾に常設の県産材展示場を初設置</li> </ul>	<p>○移住定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者数は過去最高の1,519人</li> <li>・三大都市圏に開設した拠点を核とした移住定住支援を充実</li> </ul> <p>○企業誘致の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の工場立地件数は43件で、全国6位と好調を維持</li> </ul> <p>○産学金官連携人材育成・定着プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外へ進学した学生を対象に「オール岐阜・企業フェス in 名古屋」を初開催</li> </ul> <p>○国内外からの観光誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に誇る遺産等を活用した、誘客プロモーションを展開</li> <li>・ONSEN・ガストロミウォーキングを、高山市の平湯温泉において、東海地方で初開催</li> </ul> <p>○スポーツ・文化を通じた交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアジュニア陸上競技選手権大会を国内初開催。35の国・地域の700人が参加</li> <li>・カナダ代表陸上チームの東京五輪事前合宿が決定</li> <li>・ジャポニスム2018において、県内の地歌舞伎保存会による公演等を実施</li> </ul>	<p>○地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成30年7月豪雨」による被災経験を今後の災害対応に活かすため、災害対応についての多角的な検証を実施</li> <li>・過疎地域の消防団員確保に貢献する企業への報奨金制度を創設</li> <li>・在住外国人への啓発、災害時のサポート等を担ってもらうため、外国人防災リーダー育成講座を実施</li> </ul> <p>○医療と福祉の充実・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の地域偏在解消に向け、医学生修学資金制度に「地域医療コース」を新設</li> <li>・入院患者が在宅療養へ移行する際に、かかりつけ医、ケアマネージャー、訪問看護師等に迅速、着実に引き継ぐための退院支援ルールの統一化を岐阜圏域において実施</li> </ul> <p>○平穏・安全なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「豚コレラ」の発生を受け、有識者会議を立ち上げ、防疫、野生イノシシの感染拡大防止策を実施</li> <li>・空き家の利活用・除却を行った17市町を支援</li> </ul>	<p>○テーマに応じた関係市町との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続テレビ小説「半分、青い。」を活用した誘客プロモーションをリニア沿線7市町で実施</li> <li>・大河ドラマ「麒麟がくる」の活用に向け、関係8市町の行政、観光関連団体等と連携し、協議会を設立</li> </ul> <p>○関ヶ原町との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘導・史跡解説サインの整備や、史跡等を周遊するサイクリングコースを設定</li> <li>・「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の整備、展示物の製作に着手</li> </ul> <p>○各務原市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空宙博が、国内の博物館として初めてフランスのル・ブルジェ航空宇宙博物館との連携に合意</li> </ul> <p>○美濃市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンガポール、フランスで美濃和紙の展示会、テストマーケティングを実施</li> </ul> <p>○高山市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部山岳国立公園の活性化に向け、体験ツアーの造成、ガイド人材育成計画等を策定</li> </ul>																																																